



思想史

- 竹内好 『日本とアジア』
- 丸山眞男 『忠誠と逆逆』
- 吉本隆明 『最後の親鸞』
- 橋川文三 『モーションリズム』
- 渡辺京二 『北一輝』
- 加藤典洋 『敗戦後論』
- 鶴見俊輔 『限界芸術論』
- 岩下壮一 『カトリックの信仰』
- 吉川幸次郎 『漢文の話』

教育

- 花村太郎 『知的トレーニングの技術(完全独習版)』
- 木下晃雄 『レポートの組み立て方』
- 安西徹雄 『英文翻訳術』
- 小西甚一 『古文の読解』
- 大村はま 『新編 教えるということ』
- 酒井邦秀 『どうして英語が使えない?』
- 竹内敏晴 『教師のためのからだごとば考』
- 梅田卓夫 『文章表現 四〇〇字からのレッスン』

文学

- 田中優子 『江戸の想像力』
- 加藤周一 『日本文学史序説』
- 堀田善衛 『定家明月記私抄』
- 前田愛 『都市空間のなかの文学』

現象学・存在論

- 竹田青嗣 『自分を知るための哲学入門』
- 田中久文 『日本の哲学をよむ』
- 中島義道 『不在の哲学』
- 鷲田清一 『モードの迷宮』
- 上田閑照・柳田聖山 『十牛図』

古典

- 『古今和歌集』
- 『徒然草』
- 『五輪書』
- 『雨月物語』
- 『空海コレクション』
- 『正法眼蔵随聞記』
- 『新訂 江戸名所図会』*
- 岡倉天心 『茶の本 日本
の目覚め 東洋の理想』
- 中村元 『原始仏典』

文化史・社会学

- 太田博太郎 『日本の建築』
- 松岡正剛 『フラジャイル』
- 紀田順一郎 『東京の下層社会』
- 真木悠介 『気流の鳴る音』
- 『橋爪大三郎の社会学講義』

分析哲学・科学哲学

- 野矢茂樹 『ワイトゲンシュタイン 『論理哲学論考』を読む』
- 野家啓一 『科学哲学への招待』
- 飯田隆 『規則と意味のパラドックス』

生物学

- 義老孟司 『唯脳論』
- 日高敏隆 『動物と人間の世界認識』

経済学

- 宇野弘藏 『方丈記』
- 岩井克人 『貨幣論』
- 『資本論に学ぶ』

歴史学

- 『方丈記』
- 『徒然草』
- 『五輪書』
- 『雨月物語』
- 『反オブリエクト』
- 『東京の空間人類学』
- 『言葉とは何か』
- 『古代大和朝廷』

構造・記号論

- 丸山圭三郎 『言葉とは何か』
- 宮崎市定 『古代大和朝廷』
- 森浩一 『古代史おさらい帖』
- 黒田日出男 『増補 絵画史料で歴史を読む』
- 網野善彦 『日本の歴史をよみなおす』
- 川北稔 『世界システム論講義』

心理学・精神医学

- 小此木啓吾 『自己愛人間』
- 木村敏 『自己・あいだ・時間』
- 中井久夫 『精神科医がものを書くとき』

美術・映像

- 上門拳 『上門拳 写真論集』
- 高階秀爾 『20世紀美術』
- 榎本野衣 『増補 シミュレーションズム』
- 谷川暁 『鏡と皮膚』
- 巖谷國士 『シュルレアリスムとは何か』
- 辻惟雄 『奇想の系譜』
- 若菜みどり 『イメージを読む』
- 蓮實重彦 『監督 小津安二郎(増補決定版)』
- 中平卓馬 『なぜ、植物図鑑か』

ポストモダン

- 中沢新一 『緑の資本論』
- 隈研吾 『反オブリエクト』
- 陣内秀信 『東京の空間人類学』
- 丸山圭三郎 『言葉とは何か』

民俗学

- 佐々木喜善 『聴耳草紙』
- 『南方熊楠隨筆集』
- 桜井徳太郎 『新編 靈魂観の系譜』
- 宮田登 『ケガレの民俗誌』
- 小松和彦 『異人論』
- 赤松啓介 『夜這いの民俗学・夜這いの性愛論』
- 高取正男・橋本峰雄 『宗教以前』